

サマリー

## 豪州の石炭供給能力の現状と見通し —世界同時不況の影響と中国向け石炭輸出の拡大—

戦略・産業ユニット 石炭グループ 小泉 光市  
電力グループ 横越 久樹

世界の石炭貿易市場に3割弱の石炭を供給する豪州の石炭輸出は世界同時不況下にあっても増加傾向を維持しており、石炭需要の拡大に対応するために、輸出インフラの整備を含めた新規石炭開発などの増産プロジェクトが立ち上がりつつある。豪州は2013年から2014年に向けて石炭輸出量を2009年の2.75億トンから4.8億トン程度にまで拡大させることが可能であるとのデータもある。

豪州の石炭産業は石炭輸出を拡大する意欲に満ちており、中国向け、インド向けの輸出の増加を期待している。現実に豪州の中国向け輸出量は2008年の240万トンから2009年の4,760万トンへと大きく増加している。そして、今後、日本の石炭需要（輸入）量が横這いから微減で推移するであろうとの見通しを、豪州は理解している。この結果、豪州の輸出相手国としての日本の存在感が相対的に低下することは否めない。豪州からの安定的な石炭供給を維持するためには、これまで以上に日豪間の良好な関係を維持する必要がある。

お問い合わせ：[report@tky.iej.or.jp](mailto:report@tky.iej.or.jp)